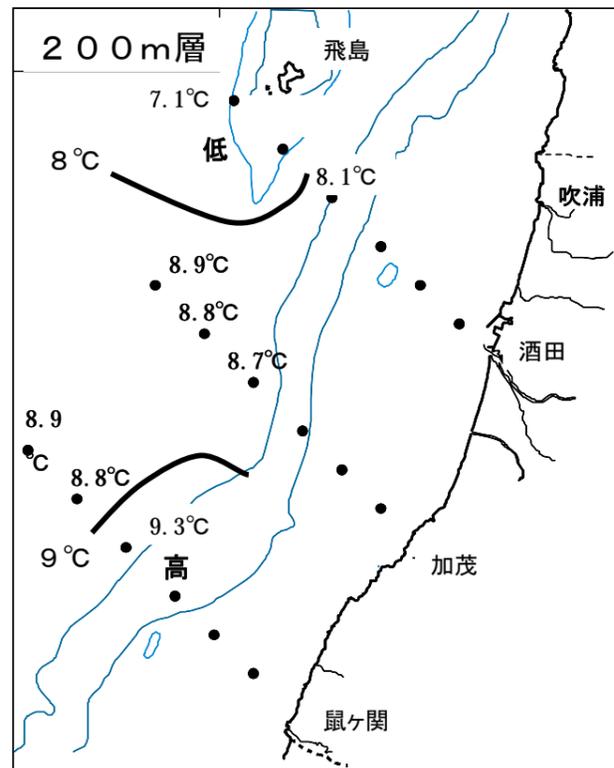
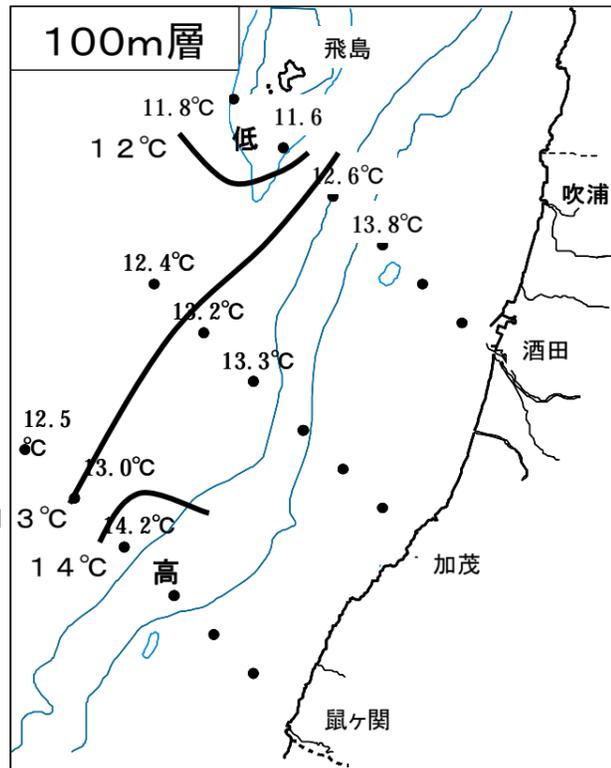
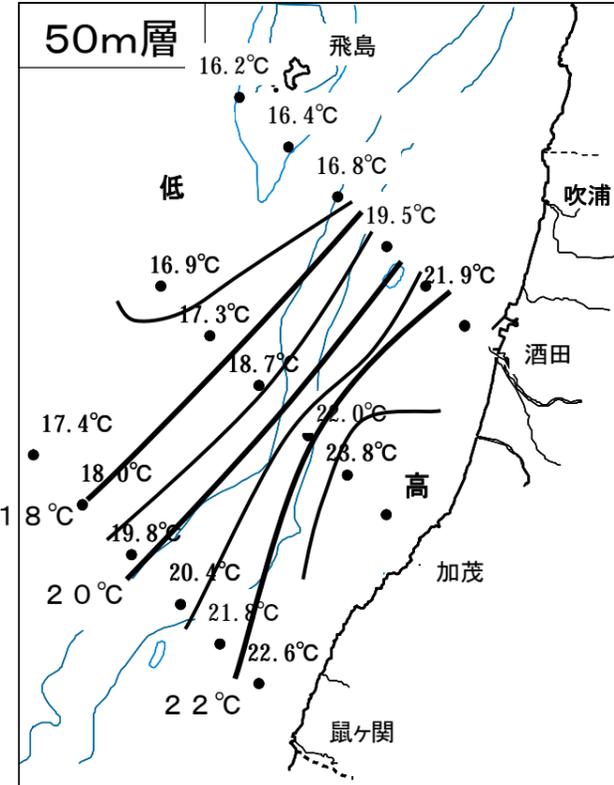
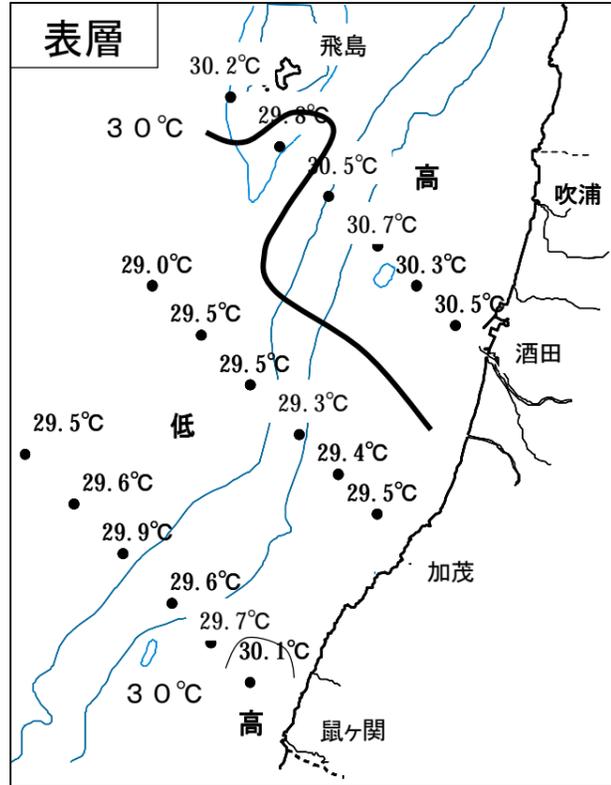


# 漁海況情報

第459号(平成22年9月10日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594  
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

観測日:8月31日(最上丸)および9月2日(月峯)  
\*表面と300m層が、はなはだ高めになっています。



地先平均水温(8月)

単位:°C

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	28.4	+3.1	+2.4	かなり高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	28.0	+4.5	+3.5	はなはだ高い

各層別の平均水温

単位:°C

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	29.8	19.1	12.8	10.1	8.6	2.8
前年差	+5.3	+0.5	-0.6	-0.2	+3.3	+1.3
平年差	+4.3	-0.2	-1.1	-0.2	+2.2	+1.2
評価	はなはだ高い	平年並み	やや低い	平年並み	かなり高い	はなはだ高い
(前月評価)	(やや高い)	(やや高い)	(平年並み)	(平年並み)	(かなり低い)	(平年並み)

評価の表現:”平年並み”は約2年に1回,”やや”は約4年に1回,”かなり”は約10年に1回,”はなはだ”は約20年以上に1回の出現確率を表しています。

## 各種漁業情報

### 1. ワニザメ対策(水産試験場 最上丸)

- ①底びき網漁期前調査で8月3, 4, 20日にタラ場、8月17, 18日最上堆、8月19日に鳥海礁を調査しましたが、ワニザメは確認できませんでした。
- ②漁業者からの情報に基づいて、9月2日に鼠ヶ関沖タラ場で底びき網調査を実施しましたがワニザメは確認できませんでした。さらに、9月6日に鼠ヶ関沖タラ場で底びき網調査及びワニザメ釣獲試験を実施しましたが、この時もワニザメは確認できませんでした。

### 2. 8月の高水温と漁業への影響

- ①8月の加茂定地水温(加茂港内、表面)は28.4°Cで、8月としては1942年の観測以来2番目の高水温でした。これは、気象(高気温)の影響と考えられます。
  - ②9月上旬の沿岸25マイル内の水温は、表面は、はなはだ高め、50m~150m層は、やや低め~平年並み、200m~300m層は、かなり高め~はなはだ高めでした。なお、200m~300m層は南部海域ほどより高めでした。表面の高水温は気象(高気温)の影響、200m~300m層の高水温は新潟県寄りに暖水塊が、秋田県寄りに冷水塊があるためと考えられます。
- ・8月の漁獲量は全体としてはほぼ平年並みで高水温の影響はみられませんでした。漁業種類別では定置網の漁獲量が落ち込むなど影響がみられました。

### 3. 日本海側各県のサワラ・マグロ漁況 \* ( )は対前年比

- ・新潟県:7月合計:サワラ4.9トン(408%)、マグロ10.4トン(83%)
- ・富山県:8月上~中旬:サワラ8.3トン(51%)、マグロ0.2トン(-%)
- ・石川県:8月上~中旬:サワラ20.3トン(40%)
- ・京都府:8月合計:サワラ39.8トン(50%)

上記、各県水試調べ速報値、主に定置網漁業の漁獲状況

### 4. 大型クラゲ情報

各水産関係機関の情報によると、9月3日現在、大型クラゲは、8月23日に鳥根県沖1個体(傘径60cm)が確認された他は、各県の調査船調査、沿岸定置網等、沖合操業の底びき網やまき網、いずれも出現の報告はありません(大型クラゲ情報は(独)日本海区水産研究所ホームページで随時更新されています)。

# 8月の漁況

- ・延べ操業隻数は、4,431隻で前年比99%でした。
- ・総漁獲量は、533トンで前年比103%でした。
- ・採貝藻漁業の漁獲量は138トンで前年比113%でした。サザエ、イギスは前年を上回りましたが、アワビは下回りました。イワガキは前年比107%と前年並みの水揚げがありました。
- ・定置網漁業の漁獲量は2.3トンで前年比27%でした。トビウオは前年を上回りましたが、ブリ類、アジ、ウマヅラ、サワラは下回りました。
- ・はえなわ漁業の漁獲量は11トンで前年比78%でした。サワラは前年を上回りましたが、タイ類、ブリ類、マグロ(メジ含む)は下回りました。
- ・その他の漁業では、船凍いか釣り漁業のスルメイカ、一本釣り漁業のサワラは前年を上回りましたが、いか一本釣り漁業のスルメイカ、さし網漁業のネジリ、キス、サザエ、ばいかご漁業のバイ類は下回りました。
- ・5～8月のイワガキ漁獲量は256トンで、前年比97%で前年並みでした。

\* 前年比は平成17～21年までの平均値と比較した値です。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	342	654	636	406	465	591	372	965	4,431	91%	99%
漁獲量	32,090	19,428	275,311	97,786	19,007	31,691	13,607	43,868	532,789	91%	103%
前年比	80%	77%	85%	134%	67%	97%	109%	86%	91%		
前年比	85%	53%	114%	126%	52%	109%	137%	93%	103%		

## 採貝藻漁業

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	234	509	156	218	291	354	240	640	2,642	112%	131%
イワガキ	27,472		14,674	17,483	8,781	11,841	8,323	23,742	112,315	93%	107%
アワビ	131		3		25	186	61	47	453	41%	75%
サザエ	29	11,211	106	493	1,264	1,046	1,475	1,692	17,314	186%	177%
イガイ	155		296	254	765	1,269	56	624	3,184	110%	97%
イギス		90		461	685	7	128	422	1,793	256%	237%
モズク		366		43	228	379	147	27	1,190	34%	94%
その他	389		714	71	257	7	75	56	1,807	247%	327%
計	28,176	11,667	15,793	18,805	12,005	14,735	10,265	26,610	138,056	100%	113%
前年比	80%	147%	108%	106%	85%	118%	107%	100%	100%		
前年比	83%	175%	152%	108%	74%	143%	154%	134%	113%		

## その他の漁業

漁業種類	いか一本釣り漁業		さし網漁業			あまだい	ごち網	一本釣り	ばいかご
	漁業	漁業	さし網漁業			さし網漁業	漁業	漁業	漁業
延べ操業隻数	29	4	606			127	177	232	22
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ネジリ (ウシボタ)	キス	サザエ	アマダイ	タイ類	サワラ	バイ類
漁獲量(トン)	9.6	223.7	1.1	1.2	4.9	4.6	26.3	4.8	9.4
前年比	343%	82%	88%	76%	55%	91%	124%	271%	73%
前年比	18%	126%	67%	40%	80%	96%	110%	393%	63%

## 定置網漁業

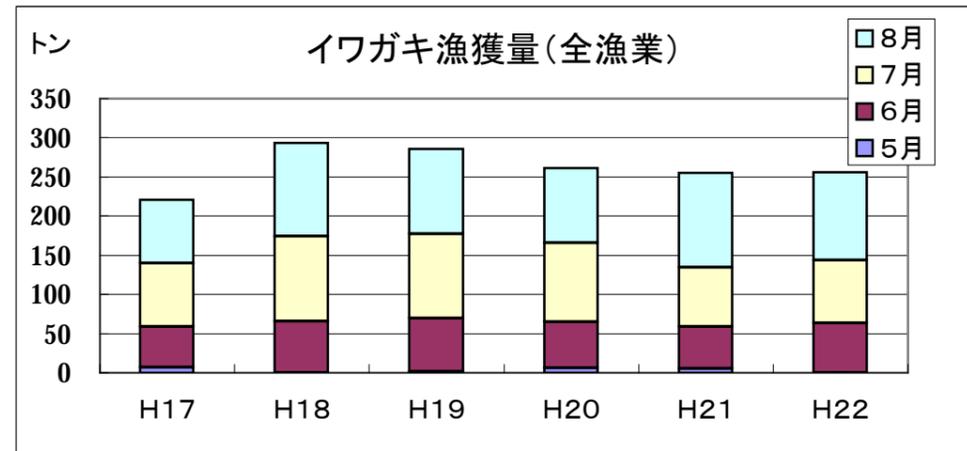
単位:kg

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	1	18	14	2	35	74%	83%
ブリ類	2	404	78	1	484	10%	14%
アジ		168	18	96	282	7%	8%
ウマヅラ		11	4	46	61	40%	55%
トビウオ		53	7		60	48%	115%
サワラ			18		18	37%	15%
その他	8	1,168	157	64	1,398	70%	88%
計	10	1,804	282	207	2,303	22%	27%
前年比	—	24%	10%	146%	22%		
前年比	15%	32%	14%	28%	27%		

## はえなわ漁業

単位:kg

支所	飛島	酒田	豊浦	温海	念珠関	その他	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	54	29	25	97	97	22	324	55%	69%
タイ類		811	1,030	549	259	802	3,451	50%	57%
ブリ類		46	139	44	123	20	372	68%	51%
マグロ(メジ含む)	1,981			272	69		2,322	17%	69%
サワラ		531	57	534	115	310	1,547	337%	250%
その他	489	32	93	1,659	997	247	3,517	289%	148%
計	2,470	1,420	1,319	3,058	1,563	1,379	11,209	46%	78%
前年比	20%	65%	46%	127%	51%	76%	46%		
前年比	74%	111%	53%	112%	41%	69%	78%		



## 最上丸の調査予定(9月上旬～10月上旬)

### 重要魚種の加入量調査、観測、上架整備

- ・ヒラメ、アンコウ、カレイ類等、重要な底魚類の資源動向を明らかにするため、稚魚や幼魚の生息状況を調査します。
- ・海洋観測を行います。
- ・上架整備を行います。



みなさま、調査へのご協力よろしくお願いします。